

■2020 栄光サッカークリニック(第1回実施レポート)

◇日時:2020年10月31日(土)13:30~14:30

◇場所:手広中学

◇参加:出口先生、小林先生、千野コーチ、高橋

◇内容:鎌倉市新人戦トーナメント大会(観察)

(1)チームの状況

・2020年2月あたりから発生したコロナ禍の影響により休校期間などを含めた長期の自粛練習期間となった。

・2020年7月あたりから徐々に部活動再開となったが、周囲の状況を見ながら9月からようやく公式戦再開の目途が立った状況。

・9月からなんとか週2回の通常練習ができるような体制での参戦となるが、11月から昨年の台風被害によるグラウンド改修工事が始まるため、練習場は陸上フィールドの中で陸上部との並列練習となる。

・「鎌倉市新人戦トーナメント」が最初の公式戦となった。

(2)試合経過

・試合前の準備練習を見た限りでは、長身の選手も数多くみられゴール正面からの球出しでのシュート練習などではキックする瞬間のインパクトも意識されていて強い低い直線的なシュートがゴールに入っていた。

・ユニフォームがオレンジ色に変わり、心機一転期待を誘った。

・しかし、試合が始まるとやはり練習不足が露呈した。

＞試合に臨む意識が薄く、フォーメーションなどチームのまとまりがまだできていない。

＞長身 CF とトップ下、2列目などの選手達との連携がまだ意識されておらず、球が来たら個々のイメージで対応するバラバラな展開だが、個々の選手の走力、ドリブル、ボール扱いなどは悪くない選手も多い。

＞意図的な有効パスが少なかったが、全体的に縦方向へのプレー以外の横向きのプレーが少なく、重心が高く体幹で横方向の俊敏性が弱い印象。横方向の俊敏性はトレーニングで十分克服できる課題だろう。

・試合経過的には、前半 0-1

とコーナーキックを競らずに押し込まれた後、中距離の混戦からミドルシュートを決めて同点に追いつき。後半それぞれ追加点で 2-2

でタイムアップを迎える寸前のキックオフを相手の GK が蹴ってそのままゴールで敗退する幕切れとなった。

・ゴール前でのヘディングが攻守において活用できていない。局面的には長身を生かしたヘッドが出る時があるが、きちんとヘッドの競り合いにジャンプする選手が居ないため、攻撃ではコーナーキックからのチャンスを逃し、守備では相手に押し込まれ敗退した

練習不足、準備不足が目立った初戦となったが、今大会はトーナメントなので、初戦敗退の影響はシード権が取れなかったという程度ではあるが、今後のリーグ戦などへの選手の自覚を起こすきっかけにすべき課題が噴出した試合となった。

~~~~~

以上